

日本医学看護学教育学会誌投稿規程

一部改正 令和5年4月1日より実施

編集委員会は審査の結果により、著者に原稿の一部を変更することを求めることがある。

1. 投稿資格

本誌への投稿は、共著者も含めてすべて本学会の会員に限る（賛助会員は除く）。また、同一内容の論文を他の関連学会および研究誌（商業誌を含む）へ投稿していないこと。但し、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではない。

2. 原稿の種類

原稿の種類は、[総説]、[原著]、[報告]、[その他]であり、それぞれの内容は下記のとおりである。

[総説] それぞれの専門分野に関わる特定のテーマについて、内外の知見を多面的に集め、また文献をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。

[原著] 研究が独創的で、オリジナルなデータ、資料に基づいて得られた知見や理解が示されており、目的、方法、結果、考察、結論等が明確に論述されているもの。

[報告] 内容的に原著論文には及ばないが、その専門分野の発展に寄与すると認められるもの。

[その他] 担当授業科目等に関する教育方法の実践事例などの報告、または、それぞれの専門分野の研究に関する見解等で、編集委員会が適当と認めたもの。

3. 言語

日本語あるいは英語とする。英語の場合はネイティブチェックを受け、その証明書（様式任意）を論文投稿時に添付すること。

4. 倫理的配慮

- (1) 人および動物を対象とする研究においては、倫理的に配慮し、その旨を本文中に明記すること。
- (2) 主となる研究者が所属する機関・施設の倫理委員会の承認を得ていること。また、その旨を本文中に明記すること。

5. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、日本医学看護学教育学会に帰属する。

6. 注意事項

二重投稿の恐れのある類似論文の投稿に際しては、そのコピーを付けて、編集委員会の決定に委ねること。

7. 原稿の採否

投稿原稿については、編集委員会が依頼した者が査読を行なう。採否は編集委員会の審査によって決定する。

8. 発刊

PDFファイルによる電子発刊とする。

9. 執筆要領

1) 原稿の構成

- (1) 原稿の初ページに、論文タイトル、全著者名、所属機関名（以上は、日本語および英語）、連絡窓口を担当する者の氏名と連絡先（郵送先、電話、ファックス、電子メール）、原稿の種類、全ページ数、図・表・写真の数を書く。

初ページの例

論文タイトル：日本語による投稿原稿の表題

Title in English

著者：島根 松子¹、出雲 竹子²、大社 梅子³

(¹島根県立大学、²島根大学、³島根県立中央病院)

Matsuko Shimane¹, Takeko Izumo², Umeko Taisha³

(¹The University of Shimane, ²Shimane University,

³Shimane Prefectural Central Hospital)

連絡窓口：島根 松子

連絡先：〒693-8550 島根県出雲市西林木町151

TEL：0853-20-0200 FAX：0853-20-0201

E-mail：kendai@izm.u-shimane.ac.jp

原稿の種類：原著、全ページ数：20、

図：2、表：3、写真：1

概要

○○○○○○○○○○……………

- (2) 概要（600字以内、英文論文では300語以内）
論文の概要を記したものを、研究の目的から結論にいたる全体の把握ができるように書く。
- (3) キーワード（5語以内、日本語および英語）
- (4) 緒言（はじめに、まえがき）
研究の目的を明確に記す。
- (5) 方法（研究方法、調査方法など）
研究・調査の対象、方法、手順、統計学的方法などを詳細に記述する。
- (6) 結果（研究結果、調査結果など）
研究等の結果や成績などを、図・表・写真などを用いて論理的に記述する。
- (7) 考察
結果の考察・評価・論述および知見の整理、関連する他の研究の説明をする。
- (8) 結論（おわりに、あとがき）

結論を記述する。

(9) 謝辞

必要であれば記載する。

(10) 文献

本文に出てきた順に番号を付け、下記の形式で記載する。

【雑誌】

引用番号) 著者名(筆頭者から3名までは列記し、それ以上は「他」、あるいはet al.とする)。論文名。雑誌名(雑誌指定の略号)発行年; 巻数: 頁-頁。

- 1) 島根松子, 出雲竹子, 大社梅子, 他. 脳波(ERP)を利用したALS患者の意思伝達. 日本医学看護学教育学会誌2012; 21(1): 34-38.
- 2) Goodman LJ, Brueschke EE, Bone RC, et al. An experiment in medical education. JAMA, 1991; 265: 2373-2376.

【単行本】

引用番号) 著者名。書名。発行年; 発行地: 発行所。頁-頁。

- 1) 山根洋右. 医学教育技法マニュアル. 1993; 東京: 篠原出版. 35-39.
- 2) Kark SL. The practice of community-oriented primary health care. 1981; NewYork: Appleton Century Crofts. 36-40.

【オンライン】

引用番号) 著者名(筆頭者から3名までは列記し、それ以上は「他」、あるいはet al.とする)。論文名。雑誌名(雑誌指定の略号)発行年; 巻数: 頁-頁。URL。

- 1) 島根松子, 出雲竹子, 大社梅子, 他. ALS患者のための意思伝達アプリの開発. 日本医学看護学教育学会誌2023; 32(1): 34-38. <https://www.....>

(11) 利益相反 (COI)

利益相反 (COI) については、文末に次のように記載する。

①利益相反がある場合

例) 本研究は〇〇から、委託研究費、奨学寄付金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。

②利益相反がない場合

本研究における利益相反は存在しない。

(12) 英文要旨 (300語以内)

日本語論文で、原著希望の場合は記載する。英語の場合はネイティブチェックを受け、その証明書(様式任意)を論文投稿時に添付すること。

2) 原稿の書式

- (1) 原稿はワープロソフト(ワードまたは一太郎)を用いて作成する。
- (2) 日本語による論文は、A4用紙1枚に横書きで40字×30行(1,200字)とする。上下左右の余白は25mmに設定する。
- (3) 英語による論文は、A4用紙1枚に30行とする。上下

左右の余白は25mmに設定する。

- (4) 原稿の枚数は、表題・図・表・写真を含めて20枚を限度とする。1つの図・表・写真は原稿1枚に記載する。
- (5) 本文の文字サイズは、10.5ポイントとし、日本語は明朝体で全角、英語はTimes New Romanで半角とする。
- (6) 読点は「,」句点は「。」を使用する。
- (7) 外国人名、地名、化学物質名などは原綴を用い、一般化したものはカタカナでもよい。
- (8) 省略形を用いる場合は、専門外の読者にも理解できるように留意する。論文の表題や概要の中では省略形は使わない。標準的な測定単位以外は、本文中に初めて省略形を用いるときは、省略形の前にそれを示す用語の元の形を必ず記す。
- (9) 度量衡の単位は、CGS単位に限る。
- (10) 本文の項目わけの記号・符号は、原則として次の順序にしたがう。

I. … 1. … 1) … (1) … ① … a. … a) …

- (11) ページは、下の余白の中央に記入する。

3) 図・表・写真

- (1) 図・表・写真は、明瞭なものに限る。刷り上がりのおおきさは、横幅80mm以内(片段)を基準とする。段組内に納まらない場合(両段)でも、最大168mm以内とする。縦幅は245mm以内とする。
- (2) カラー写真は原則として認めない。
- (3) 図1, 表1, 写真1などの通し番号をつけ、本文とは別用紙に一括して印刷する。
- (4) 図・写真の番号やタイトルはその下に記入し、表の番号やタイトルはその上に記入する。
- (5) 脚注は図・表・写真の下に記述する。
- (6) 図・表・写真の挿入位置は、原稿の欄外右側に朱書きする。

10. 原稿の投稿

1) チェックリストと利益相反(COI)申告書

本学会のホームページ(<http://www.jamne.org/index.html>)から、論文投稿をするにあたってのチェックリストと利益相反(COI)申告書をダウンロードし、必要事項を記入する。

2) 投稿

投稿原稿とチェックリスト、英語による投稿の場合はネイティブチェック証明書(様式任意)、そして利益相反(COI)申告書をPDFファイルに変換し、「11. 投稿料および掲載料」に示している「投稿料支払済(著者氏名)」ファイルとともに、編集委員会に電子メールにて投稿する。ただし、利益相反(COI)申告書については論文掲載決定後に原本を提出する。また、一度投稿された論文の差し替え、および著者の変更・追加は認めない。

3) 受付

投稿内容を確認した後、著者に投稿論文受領通知を送信する。

4) 査読

投稿された論文は2名の査読委員により査読を行い、査読委員は査読結果報告書を編集委員会に提出する。編集委員会は査読結果を基に、掲載の可否について判定を行う。判定結果は、次の通りである。

A判定：このままで掲載可

B判定：小幅修正にて掲載可（語句の修正程度）

C判定：大幅修正後、再査読を要す

D判定：掲載不可

5) 再提出

B,C判定を受けた著者は、査読者のコメントに対する回答書（フォーマットは任意）とともに、修正新原稿を締切までに、編集委員会に再提出する。締切に間に合わない場合は、「取り下げ」と見なす。

6) 回答書の留意点

- (1) 査読者からの各コメントに対して、対応が明確にわかるように回答をすること。
- (2) 旧原稿のどの文章を、新原稿ではどのように追加・修正したのか、それらの文章やページ・行を対比して記述すること。
- (3) 一部赤字等で記述した新原稿は回答書の補足資料である。再提出論文は、それとは別に作成すること。

7) 判定

最終的に編集委員会において、掲載の可否について判定を行う。結果は著者に通知する。

8) 不服申立

判定結果に不服がある場合は、1回に限り不服の申し立てができる。編集委員会が査読結果通知書を送信した日を含めて、14日以内に論文の筆頭者が「不服申立書」を編集委員会宛に電子メールの添付資料(PDF)として提出すること。様式は問わない。

11. 著者校正

掲載が決定した論文について、著者校正は1回行う。

12. 投稿料および掲載料

- (1) 投稿料として1論文当たり5千円を投稿時に、郵便振替[日本医学看護学教育学会口座番号01430-4-31999]で振り込む。通信欄には「投稿料」と記入する。その郵便振替をスキャナで取り込み、ファイル名を「投稿料支払済(著者氏名)」として論文投稿時にあわせて送信する。別の支払方法を希望する者は、あらかじめ事務局に申し出ること。

(2) 掲載料は無料とする。

(3) 別刷りは表紙を付けPDFファイルを作成し著者に贈呈する。

13. 論文投稿先

島根県立大学 出雲キャンパス内

日本医学看護学教育学会 編集委員会 宛

メールアドレス：jamne-ed@u-shimane.ac.jp